

ピラミッド/Book

今月のテーマ: 衣服



今月のテーマ: 衣服

ぞう組: 何を着ようかな

きりん組: 見て見て!

らいおん組: 世界の中の自分たち

年間テーマ活動

	テーマ	発達領域
4月	受け入れ	個人の発達
5月	からだ	空間の理解
6月	大きさ	考える事の発達
7, 8月	水	知覚の発達
9月	色と形	考える事の発達
10月	秋	言葉の発達
11月	交通	言葉の発達
12, 1月	数える	考える事の発達
2月	衣服	言葉の発達

起きてパジャマを脱ぐ、その日の服を選んだりする等、衣服は生活をする中で欠かせない物です。子どもが成長するにつれて、衣服は小さくなり新しい物を用意します。子どもは普段着を着るだけでなく、ドレスアップして遊ぶことも大好きです。

大きい・小さい・長い・短い・ボタンがある・チャックがついてる・結婚式の服・七五三の服・いろんな国の服など、年齢に合わせて衣服の比較をしたりドレスアップも楽しんでいきます。

ぞう組

テーマ：衣服



1. なんだろう？ (方向づけ)

ひらひら！！



スカートはいてる！

この青いズボン
が好き！



この服着て一緒に
おでかけしよー！

着せ替えコーナー



2. みてみよう (見本を見せる)

この日は留め具の名前を知って使ってみようということでジッパーの玩具や衣装コーナーの服を使ってやってみました。まず、この留め具の名前はなんだろうかと一緒に考えてみました。すると、子ども達から「チャック！」「ファスナー！」といった声が。自分が覚えている名前を次々に答えてくれました。ボタンを見せると「ボタン！」とみんなで答えてくれました。このように名前があることを知ることで普段何気なく使っている物の名前も意識するようになりました。



たたんで入れた！

こうやってたたんで、リュックに入れる

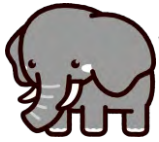


ここに入れて、
上げる…



衣服のしまい方はどうしたらいいかな？という事でみんなに服はどうやってしまっているのか聞いてみました。すると、「ハンガーにかける」や「たたむ」という意見が出てきました。金曜日にカゴの中の服を持って帰る時にもちゃんと畳めそう？ときくと「できる！」との声が。畳むことを意識してくれたのか金曜日だけでなく翌週の月曜日にカゴにいれるときも畳んでいる姿が見られました。





3. どうしてそうなの？ (理解を広げる)



こうやるんだよ！

着る順番



今度は「前後ろ・裏表は分かるかな」というテーマでサークルタイムを行いました。保育者が前後ろ反対で子どもたちの前に出ていくと「服反対！」という声。子どもたちにどうやったら反対じゃなくなるかな？と尋ねると、「こうするんだよ！」と言葉や身振り手振りで一生懸命教えてくれました。無事に着替えることができ、感謝を伝えるとすごく嬉しそうな顔が見られました。

次に、衣服を着る順番を1 2 3 4の番号順に置いてもらいました。シャツは服の中に着てるからと長袖の前に置いていたり、上靴を履いているとズボンを履けないことに気付いたり子どもたちからも着脱のポイントを言葉にして伝えてくれることで意識せずにやっていることを改めて確認する機会になりました。



4. もっとしりたい (理解を深める)

自分とピッタリな服はどれかなという事で子ども達に実際に服を着てもらい一緒に考えました。大人用、幼児用、乳児用の3つのサイズの服を用意しました。最初に服を見せた時から「中くらいの服！（幼児用）」と答えてくれたのですが確かめてみようとのことで着てもらいました。小さい服を着た時に「みんなが赤ちゃんの時は着れたんじゃない？なんで着られなくなったのかな？」と問いかけてみると「大きくなったから！」と答えてくれ、子どもたちも自分たちの成長に気付いている様子でした。大人になったら大きすぎる服も着れると思う！と楽しそうに話してくれました。

季節に合った服を選ぼうということで夏と冬には長袖と半袖のどちらを着よう？と子どもたちに尋ねてみました。みんな暑い時は半袖、今みたいな寒い時には長袖を着ることを理解していました。冬の次は暖かくなって春になる、そのときは何を着ようか？みんなも選んでみてねと伝えたので子どもたちが選ぼうとしていたら見守っててくださいね。

小さい！

合ってる！



大きすぎー！



冬はこっち！

このように子どもたちにとって毎日身に着ける「衣服」というテーマでやってきました。上着を着る時にも自分自身でやるという経験のためにお時間に余裕がある時だけでも着られるまで見守ってみたり、お家でもタオルなど簡単な物から一緒に畳んだり、服を選ぶときにもどこが好きなのか言い合ったりして日常の一部でありながらも今回のテーマで会話の種になり、自分や家族の衣服にも興味を持ち自分自身で選ぶ、見るなどの楽しみをたくさん発見したことでこれからの衣服との関わり方が変わってきたり、子どもの気付きに大人が改めて気付かされることもあるかもしれません。気づく楽しさを一緒に感じることでこの時期を楽しめたらいいですね。

きりん組

テーマ：衣服

なんだろう？
(方向づけ)

暑い時は
この服かな～



今月のテーマは『衣服』
まず初めにサークルタイムで「はりもぐらおじさん」を読んでいろいろな服が作られるのを楽しみました。みんなで話していく中で、自分の服を作ろうということになったので、準備をしていこうと考えています。



このズボン
寒い時！



これは小さい
から赤ちゃん
の服かな～



サークルタイムでいろいろな服を並べ、子ども達に「どんな服がある？」と聞いてみると、「大きい服がある」「ちっちゃい赤ちゃんの服もあるで」「チャックと帽子がついてるからジャンパーやで」等、たくさんの会話が出てきました。「見ただけで大きさ分かるん？」ということで、実際に来てみると…「ほらちっちゃいやん」「やっぱりでかすぎるわ」着てみることでより一層、大きさの違いを感じていました。

これは大きすぎる！



みてみよう
(見本を見せる)

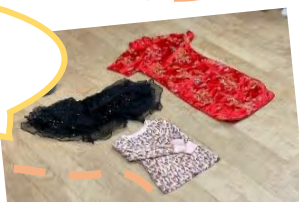


「なんやろ？」
「ちょっとザラザラ？」



大きさや季節で分けてみる！ということをしたので、次は『素材』に触れて違いを感じてみました。はてなボックスにおそろおそろ手を入れ、触ってみると…「なんかザラザラしてるな」「ドレスのレースみたいな感じもする」とレースを触ってみて感じていました。他の素材でも「お布団みたいにふわふわ」「ツルツルしててきもちいい」など、サテンや綿の生地を触って違いを感じながら、物に例えながら表現をする姿も見られました。

みんなで触っ
てみたもの！



素材を触ってみた後は、服はどうやってできているのか、を絵本で見ました！服は、布→糸→ひつじの毛やカイコのマユから出来ていることを知るとビビクリ仰天！みんなの服のタグをみると何で出来ているか書いてあることも知り、みんなでタグの見合いっこが始まる程、興味津々でした。



**どうしてそうなるの？
(理解を広げる)**



いろいろな仕事をしている人の服を見てみよう！ということで、商店街まで散歩に行きました。歩きながらも「あっ、ワンちゃんも服きてるで」「阪急電車の運転手さんは黒色やった」と身近な周りの人の服装にも興味をもっていました。

商店街の中には、お店がたくさん。「お薬屋さん白のかっこいいやつ」「お団子屋さんエプロンじゃない！帽子も被ってるやん」「たこ焼きさん黒やな」「こっちのお薬の人は、半袖やで」と服装チェックを楽しんでいました。



散歩に行って様々な服装の人たちを見てきてので、次は自分が作りたい物を考えて、ワンピースやズボンなど思い思いの服を作りました。作りながら、「これつけたら可愛くなるやんな」「警察はここにマークあるから作ろう」と言って、イメージを膨らませながら、オリジナルの服が完成しました！

みんなで見せ合いっこするのを、待ち遠しく感じていました。

**もっとしたい
(理解を深める)**

最後はみんなでファッションショー！！
「こんな風に作りました」「リボンをたくさんつけました」と自分の服のポイントも発表し、友だちから

「かっこいい」「似合ってる」とたくさん嬉しい言葉を言ってもらい、ちょっと恥ずかしそうにしながらも嬉しそうでした。

毎日着用する、衣服。これからも「どんな服？」「暑くなってきたね」など関連した話を子ども達と話していきたいと思います。

帽子♪



紫のドレス



警察官♪



スカート♪

ズボン♪



帽子♪



●発見コーナー●
いろんな大きさ模様の着せ替え



●製作コーナー●
好きな服の模様付け

なんだろう？ (方向づけ)



2月の活動のテーマは衣服です。

衣服という言葉は、子どもたちにとっては、少し難しいですね。

「服」という言葉に換えた方が、子どもたちの生活、イメージに近いです。

サークルタイムで話をしていると、子どもたち一人ひとりに、

「先生、この服見て！」と言える、お気に入りの服があるようです。

また、「この服のレースの部分が好きやねん！」「キャラクターが描いてあるのが好きな所！」細かな部分まで伝えてくれました。

子どもたちの言葉の広がりから、発見コーナーに用意したのは、服の製作コーナーです。Tシャツ、ズボン、シャツ、スカートなどの型紙から、好きなものを選び顔、手足などは、自分切り貼りして作り上げます。

「こんな服着てみたいな！」「これがかっこいいな！」とイメージを形にしたり、「お父さん、仕事の時にこんな感じの服着てる！」と、自分ではない別のイメージを膨らませる姿も見られました。

発見コーナーの中で子どもたちの理想や、憧れが少し形になったようでした。

みてみよう (見本を見せる)



子どもたちの「こんなの、あんなの」イメージが膨らんできたところで、子どもたちの近い未来の姿を考えてみました。

卒園、就学が身近に迫っている子どもたち。就学先によっては制服がある小学校もあったり、荷物の違いや、交通手段の違いにも話が広がりました。

また、自身のきょうだいの姿を見て「小学校は制服ないけど、お姉ちゃんの中学校や、高校は制服あるよ！」と教えてくれる子もいました。



保育園の先生になっ
たみんなで、歌を
うたっています！



大きくなったら
パン屋さん
になりたいな！



描きあげたものを、
ペープサートにし
て、ごっこ遊びも
楽しんでます♪

子どもたちは、卒園製作の中でアルバムの表紙作りに取り組みました。

子どもたちと一緒に決めたテーマは「将来の夢」

それぞれが大きくなった自分をイメージし、描きあげました。

固定観念に囚われず、子どもたちは

「仕事」ではなく、「こんな自分でいたい！」を表現しました。それぞれが、思い出に残る一枚が出来上がりました。

どうしてそうなるの？
(理解を広げる)



絵本の中に出てきた中国地方の民族衣装です！

卒園が近くなる中で、子どもたちの話の中でも「小学生」という言葉が多く聞かれるようになってきました。就学すると、集団も今より大きくなり、新しい友だちと出会っていきます。また、多様な文化に触れる事も出てくるでしょう。そこで、この絵本を子どもたちと一緒に見ました。

この絵本、とてもオススメです！



子どもたちもじっくり見入っていました！



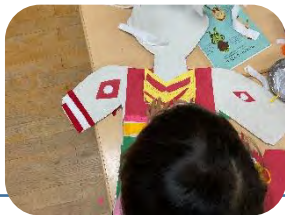
絵本の中に出てきた、世界の子ども、人々は、服装はもちろんの事、肌の色や髪の毛の色、瞳の色など自分たちと違う点があります。ですが、住んでいる世界は同じで、同じ時間の中で生きています。一概に「肌色」と言っても世界には沢山の肌の人があります。すると、子どもたちの製作の中にも変化が見られました。肌に、濃い茶色や白っぽい色を使ったり・目の中を、水色で塗ったり・絵本に出てきた人を真似して作る子もいました。そして、お互いが作ったものを認め合う姿も沢山見られました！



外国のバスケットボール選手です！



もっとしいたい
(理解を深める)



一つのテーマから、子どもたちは、友だちや人に対する考え方も広がり、就学後の「先生と一緒にこんなこと考えたなー！」がまた一つ増えたと思います。部屋の製作コーナーでは、グループに分かれて、世界の衣装作りが始まりました。布の端切れや、画用紙などを組み合わせながら、作っていきました。絵本の中で見た、外国の子どもたちの衣装を真似て作ったり、「ここの国のやつにしよう！」と話し合い進めていっています。更に遊びは発展していくでしょう。

就学を控えている、らいおん組の子どもたちは、今回のテーマ活動を通し、多くの発見やワクワクするイメージが膨らんだことと思います。

これからも、沢山の世界に飛び込み、人と出会い、気持ちの繋がりを感じて欲しいと思います。



